



東京ガス株式会社

2005年度第3四半期説明会

2006年2月1日

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

2005年度第3四半期決算の概要

第3四半期決算総括(対前期実績)

■対前年同期比 増収減益

<プラス要因>

- ・全用途におけるガス販売量の増
- ・コストダウンの推進

<マイナス要因>

- ・原油価格高騰に伴う原材料費の大幅増
- ・2005年1月料金改定の影響

■単体第3Q経常利益 対前期要因分析

ガス売上の増	+365億円
原材料費増による収支悪化	▲600億円
固定費の減	+22億円
器具・受注工事益の減等	▲12億円
営業外損益(デリバティブ等)	▲11億円

 単体経常利益 557億円→319億円 ▲238億円

(億円未満切捨て)

	FY05 1~3Q	FY04 1~3Q	増減
売上高	8,368	7,962	+406(+5.1%)
営業利益	460	715	-255(-35.7%)
経常利益	402	669	-267(-39.9%)
第3四半期純利益	274	434	-160(-36.7%)
為替(円/\$)	112.11	108.52	+3.59
-----	-----	-----	-----
原油(\$/bbl)	54.51	38.10	+16.41

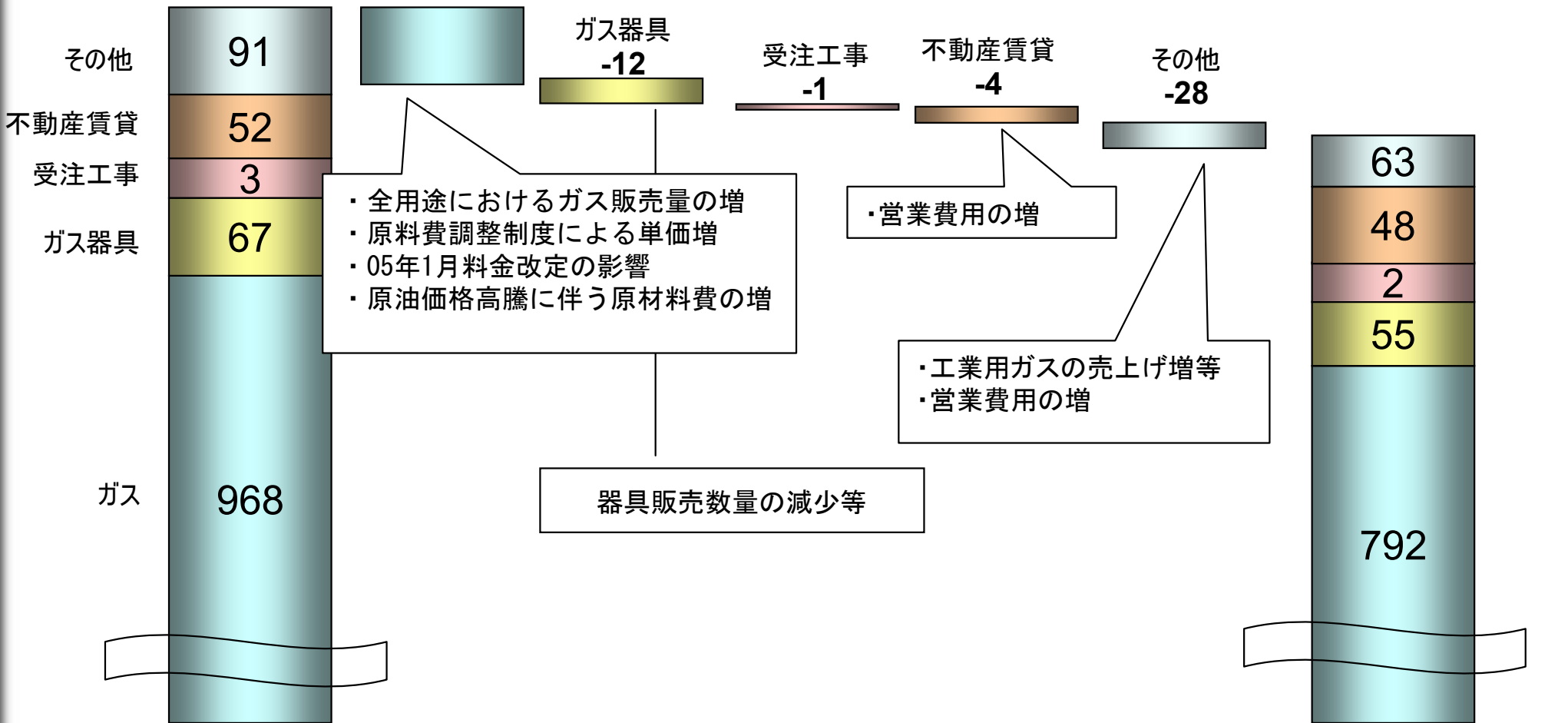
営業利益増減要因(対前期実績)

(単位:億円)

- 255億円

内部取引相殺後
Total 715

内部取引相殺後
Total 460



FY04 1Q~3Q

FY05 1Q~3Q

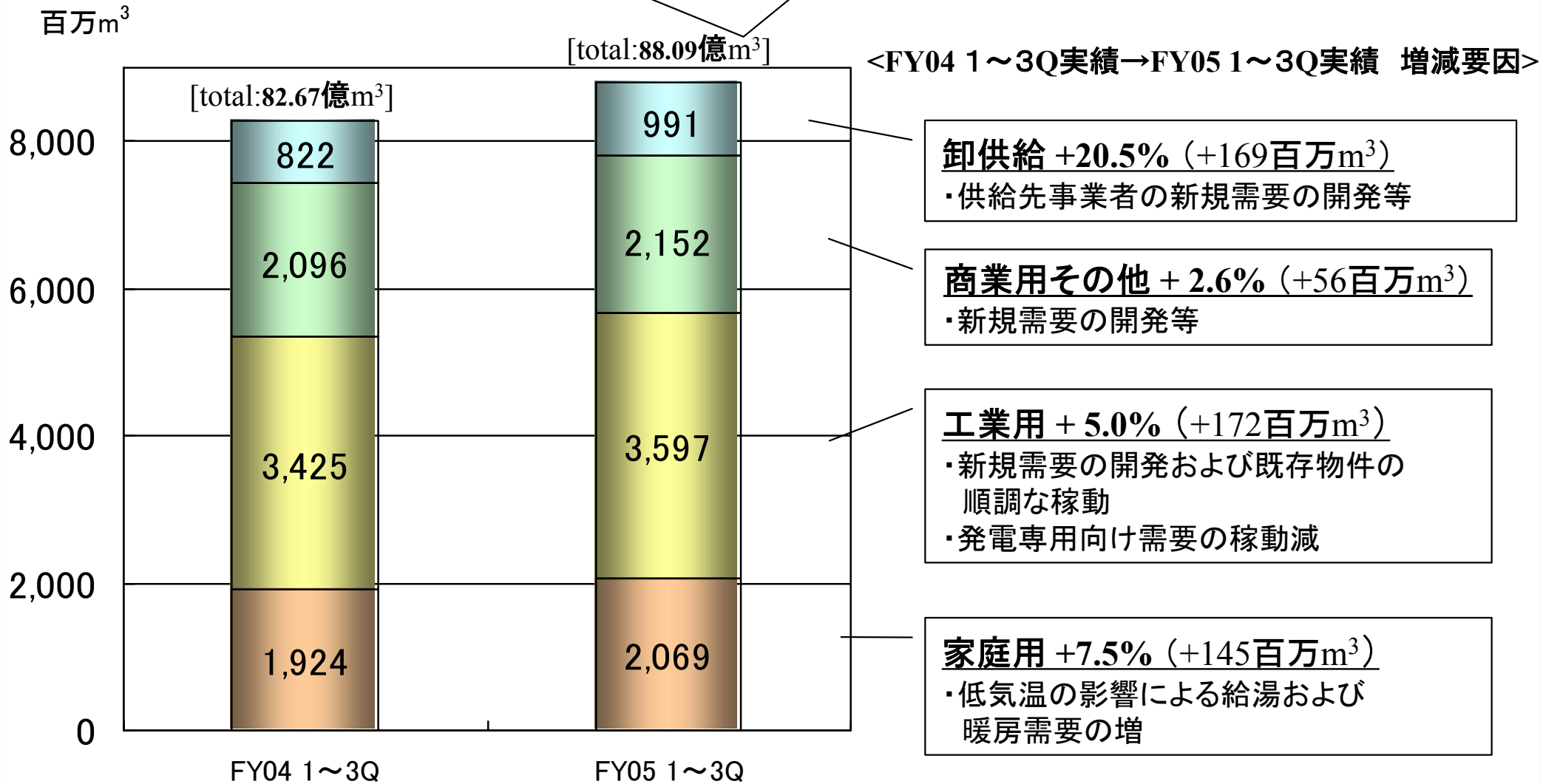
(*)Total 1,181

(*)Total 962

(*)営業利益には配賦不能営業費用を含まず

ガス販売量実績(連結)

対前年同期比 6.5%増(+ 542百万m³)



(百万m³未満四捨五入)

2005年度通期収支の見通し

通期見通しの修正について

■対中間決算発表時(10/31)見通し比 増収減益

<プラス要因>

- ・11月、12月低気温に伴う家庭用ガスを中心とした販売量の増

<マイナス要因>

- ・さらなる原油価格高騰に伴う原材料費の増
- ・天候デリバティブ契約等に伴う支払い増

[システム開発プロジェクト中止に伴う特別損失の計上]

■特別損失額：50億円

■単体経常利益 対10/31見通し比 要因分析

ガス売上の増	+190億円
原材料費増による収支悪化	▲304億円
固定費の減	+23億円
天候デリバティブ等による営業外収支悪化	▲60億円

単体経常利益 890億円→740億円 ▲150億円
(億円未満切捨て)

	FY05見通し (2/1時点)	FY04 実績	FY05見通し (10/31時点)	対FY04 実績	対10/31 見通し
売上高	12,680	11,907	12,480	+773 (+6.5%)	+200 (+1.6%)
営業利益	980	1,453	1060	-473 (-32.6%)	-80 (-7.5%)
経常利益	850	1,328	990	-478 (-36.0%)	-140 (-14.1%)
当期純利益	540	840	670	-300 (-35.7%)	-130 (-19.4%)
為替(円/\$)	112.83	107.55	109.74	+5.28	0.00
原油(\$/bbl)	55.04	38.77	53.94	+16.27	+1.10
気温(°C)	16.2	17.1	16.7	-0.9	-0.5

営業利益増減要因(対10/31見通し比)

(単位:億円)

- 80億円

内部取引相殺後
Total 1,060

内部取引相殺後
Total 980

ガス
-93

ガス器具
±0

受注工事
±0

不動産賃貸
+3

その他
-4

その他

97

不動産賃貸

48

受注工事

34

ガス器具

58

ガス

1,543

- ・全用途におけるガス販売量の増
(連結ガス売上高 +192億円)
- ・さらなる原油価格高騰に伴う
原材料費の増 (-302億円)

営業費用の増等

93

51

34

58

1,450

10/31見通し

FY05 見通し

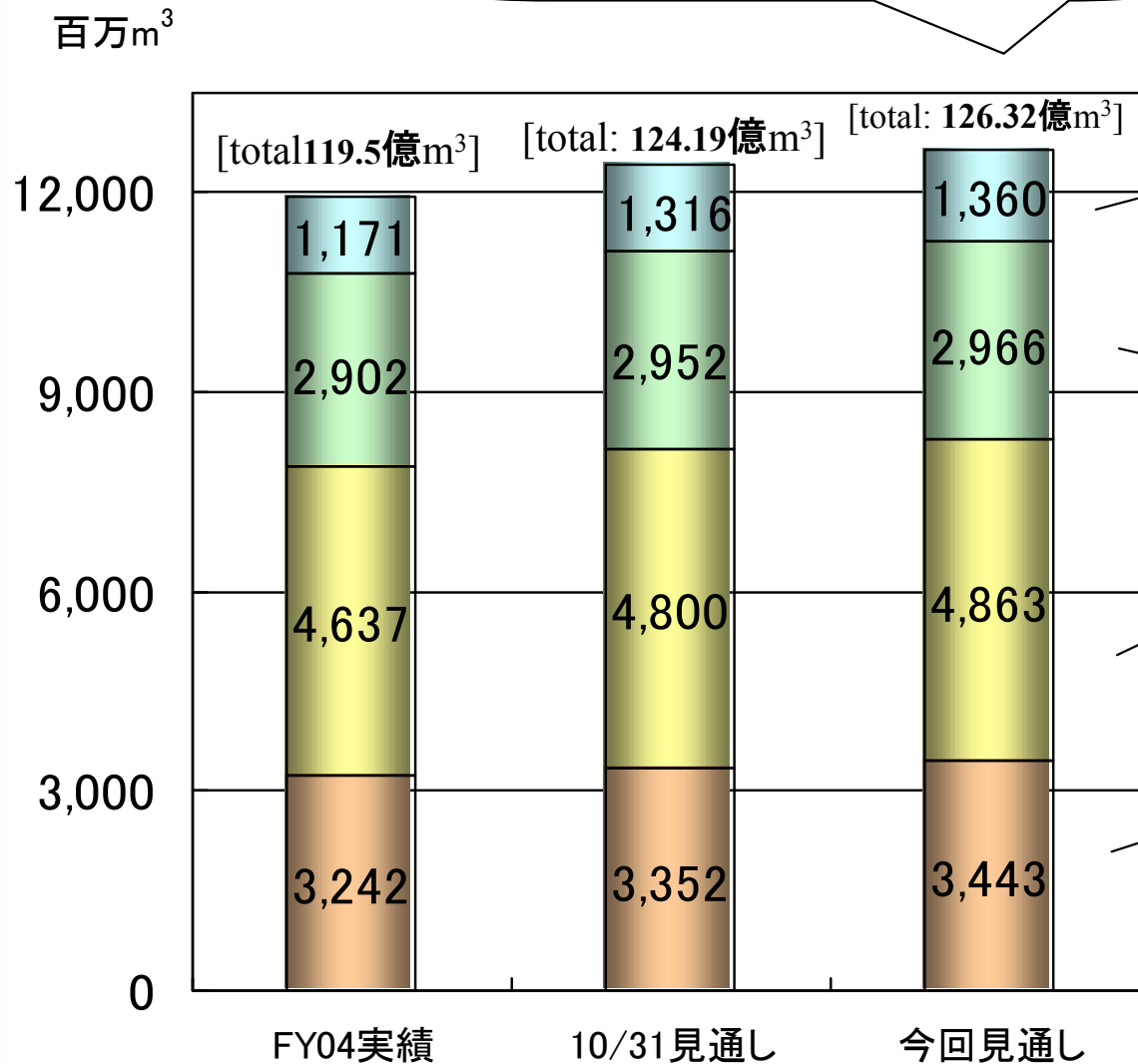
(*)Total 1,780

(*)営業利益には配賦不能営業費用を含まず

(*)Total 1,686

ガス販売量見通し(連結)

10/31見通し比 1.7%増(+213百万m³)



<10/31見通し → 今回見通し 増減要因>

卸供給 +3.3% (+44百万m³)

・供給先事業者の引取量増

商業用その他 +0.5% (+14百万m³)

・既存物件の稼働増

工業用 +1.3% (+63百万m³)

・既存物件の順調な稼働等

家庭用 +2.7% (+91百万m³)

・冬季低気温の影響による給湯および暖房需要の増

(百万m³未満四捨五入)

参考資料

主要計数表(通期-①)

(億円)

	FY05 見通し	FY04 実績	10/31 見通し	対前期	対10/31
売上高	12,680	11,907	12,480	+773 (+6.5%)	+200 (+1.6%)
営業利益	980	1,453	1,060	-473 (-32.6%)	-80 (-7.5%)
経常利益	850	1,328	990	-478 (-36.0%)	-140 (-14.1%)
当期純利益	540	840	670	-300 (-35.7%)	-130 (-19.4%)
EPS(円)	20.47	31.47	25.41	-11.00 (-35.0%)	-4.94 (-19.4%)
TEP (東京ガス版EVA)	146	501	238	-355(-70.9%)	-92(-38.7%)
ガス販売量(百万m ³)	12,632	11,952	12,419	+680 (+5.7%)	+213 (+1.7%)
為替(円/US\$)	112.83	107.55	109.74	+5.28	+3.09
原油(\$/bbl)	55.04	38.77	53.94	+16.27	+1.10
気温(°C)	16.2	17.1	16.7	-0.9	-0.5

主要計数表(通期-②)

(億円)

	FY05 見通し	FY04 実績	10/31 見通し	対前期	対10/31
総資産(a)	16,600	16,687	16,650	-87 (-0.5%)	-50 (-0.3%)
株主資本(b)	6,890	6,487	6,960	+403(+6.2%)	-70 (-1.0%)
株主資本比率(b)/(a)	41.5%	38.9%	41.8%	+2.6%	-0.3%
有利子負債残高	6,000	6,241	6,000	-241	±0
利益キャッシュフロー(c)	540	840	670	-300(-35.8%)	-130 (-19.4%)
投資キャッシュフロー (d)=(f) - (e)	50	327	20	-277(-84.7%)	+30 (+150%)
設備投資(e)	1,310	1,075	1,340	+235(+21.8%)	-30(-2.2%)
減価償却(f)	1,360	1,402	1,360	-42(-3.0%)	±0
フリーキャッシュフロー (c) + (d)	590	1,167	690	-577(-49.5%)	-100 (-14.5%)
ROA : (c) / (a)	3.2%	5.0%	4.0%	-1.8%	-0.8%
ROE: (c) / (b)	8.1%	13.5%	10.1%	-5.4%	-1.9%

(注) ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益／株主資本(期首・期末平均)

EPSの分母は期中平均株数

フリーキャッシュフロー=[利益キャッシュフロー(当期純利益)]+[投資キャッシュフロー-[(減価償却費)-(設備投資)]